

運用報告書（全体版）

楽天ボラティリティ・ファンド （毎月分配型）／（資産成長型） ＜愛称：楽天ボルティ＞

（毎月分配型）

第109期(決算日：2023年5月12日) 第112期(決算日：2023年 8月14日)
第110期(決算日：2023年6月12日) 第113期(決算日：2023年 9月12日)
第111期(決算日：2023年7月12日) 第114期(決算日：2023年10月12日)

（資産成長型）

第19期(決算日：2023年10月12日)

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いましたので、当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号

本資料(運用報告書(全体版))の記載内容のお問い合わせ先

TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。(両ファンド共通)

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型
信託期間	2014年4月23日から2024年4月12日まで
運用方針	「楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)」(「主要投資先ファンド」)を主な投資対象とすることにより、主として、ボラティリティ関連指数に連動する投資商品(ボラティリティ関連資産)への実質的な投資を行い、投資信託財産の成長を目指します。また、投資信託財産の一部を、米国短期国債を主な投資対象とする上場投資信託証券(ETF)に投資します。 主要投資先ファンドにおいて、組入外貨建資産の割合に応じて対円での為替ヘッジを行います。ヘッジ比率は80%程度以上を基本とします。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

■本資料の表記に関する注記

- ・金額等の数値は表記未満切捨または四捨五入により表示しております。このため、各項目の合計の値が合計欄と一致しないことがあります。
- ・－印は、組入・売買が無いことを示します。

最近5作成期の運用実績

決算期	(分配落)	基準価額		投資信託証券 組入比率	純資産総額	
		税込 分配金	期 騰落率			
	円	円	%	%	百万円	
第15 作成期	85期(2021年 5月12日)	7,762	80	△1.1	98.9	552
	86期(2021年 6月14日)	7,676	80	△0.1	98.4	562
	87期(2021年 7月12日)	7,651	80	0.7	99.0	547
	88期(2021年 8月12日)	7,666	80	1.2	97.9	560
	89期(2021年 9月13日)	7,484	80	△1.3	98.7	542
	90期(2021年10月12日)	7,197	80	△2.8	98.5	622
第16 作成期	91期(2021年11月12日)	7,351	80	3.3	99.1	608
	92期(2021年12月13日)	6,792	80	△6.5	94.3	615
	93期(2022年 1月12日)	7,034	80	4.7	98.0	646
	94期(2022年 2月14日)	6,086	50	△12.8	98.3	576
	95期(2022年 3月14日)	5,818	50	△3.6	99.2	519
	96期(2022年 4月12日)	5,793	50	0.4	99.0	526
第17 作成期	97期(2022年 5月12日)	5,516	30	△4.3	98.9	497
	98期(2022年 6月13日)	5,479	30	△0.1	99.2	484
	99期(2022年 7月12日)	5,421	30	△0.5	99.6	486
	100期(2022年 8月12日)	5,694	30	5.6	99.2	511
	101期(2022年 9月12日)	5,561	30	△1.8	99.7	500
	102期(2022年10月12日)	5,520	30	△0.2	99.6	496
第18 作成期	103期(2022年11月14日)	5,563	30	1.3	99.6	484
	104期(2022年12月12日)	5,636	30	1.9	98.7	489
	105期(2023年 1月12日)	5,746	30	2.5	98.9	492
	106期(2023年 2月13日)	5,727	30	0.2	99.6	482
	107期(2023年 3月13日)	5,594	30	△1.8	99.1	472
	108期(2023年 4月12日)	5,568	30	0.1	99.1	465
第19 作成期	109期(2023年 5月12日)	5,668	30	2.3	99.5	471
	110期(2023年 6月12日)	6,095	30	8.1	99.1	579
	111期(2023年 7月12日)	6,253	30	3.1	100.0	572
	112期(2023年 8月14日)	6,161	30	△1.0	99.6	477
	113期(2023年 9月12日)	6,256	30	2.0	99.0	481
	114期(2023年10月12日)	6,000	30	△3.6	99.2	460

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	
第109期	(期 首)2023年 4月12日	円	%	%
	4月末	5,568	—	99.1
	(期 末)2023年 5月12日	5,587	0.3	99.1
第110期	(期 首)2023年 5月12日	5,698	2.3	99.5
	5月末	5,668	—	99.5
	(期 末)2023年 6月12日	5,802	2.4	99.3
第111期	(期 首)2023年 6月12日	6,125	8.1	99.1
	6月末	6,095	—	99.1
	(期 末)2023年 7月12日	6,288	3.2	99.1
第112期	(期 首)2023年 7月12日	6,283	3.1	100.0
	7月末	6,253	—	100.0
	(期 末)2023年 8月14日	6,387	2.1	99.6
第113期	(期 首)2023年 8月14日	6,191	△1.0	99.6
	8月末	6,161	—	99.6
	(期 末)2023年 9月12日	6,193	0.5	99.3
第114期	(期 首)2023年 9月12日	6,286	2.0	99.0
	9月末	6,256	—	99.0
	(期 末)2023年10月12日	6,060	△3.1	99.2
		6,030	△3.6	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投資信託証券 組 入 比 率	純資産総額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率		
	円	円	%	%	百万円
15期(2021年10月12日)	16,069	0	△3.2	97.3	477
16期(2022年 4月12日)	13,684	0	△14.8	100.2	445
17期(2022年10月12日)	13,489	0	△1.4	99.6	441
18期(2023年 4月12日)	14,046	0	4.1	98.6	461
19期(2023年10月12日)	15,615	0	11.2	99.7	472

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

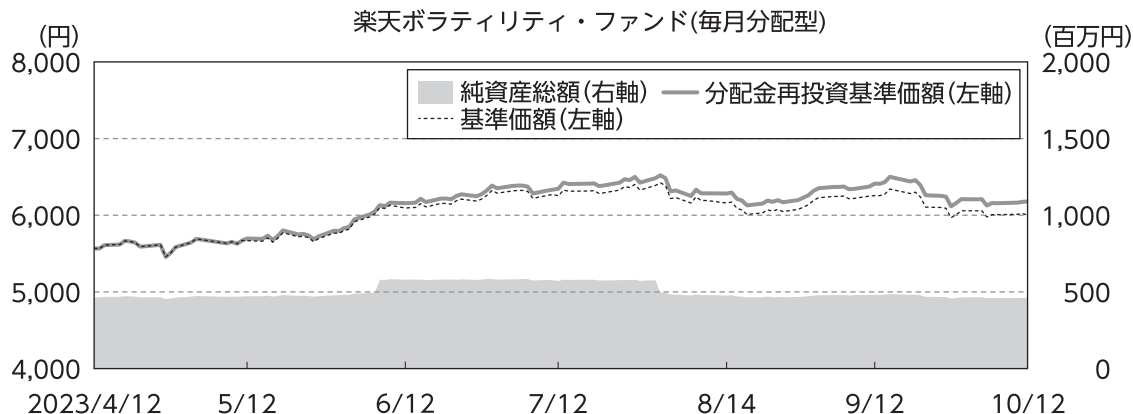
当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		投資信託証券 組 入 比 率
	騰 落 率		
(期 首)	円	%	%
2023年 4月12日	14,046	—	98.6
4月末	14,094	0.3	99.6
5月末	14,716	4.8	99.3
6月末	16,051	14.3	99.0
7月末	16,382	16.6	100.4
8月末	15,949	13.5	99.4
9月末	15,692	11.7	99.0
(期 末)			
2023年10月12日	15,615	11.2	99.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

当(作成)期中の運用経過と今後の運用方針

■基準価額等の推移



第109期首：5,568円

第114期末：6,000円(既払分配金180円)

騰落率：11.0%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

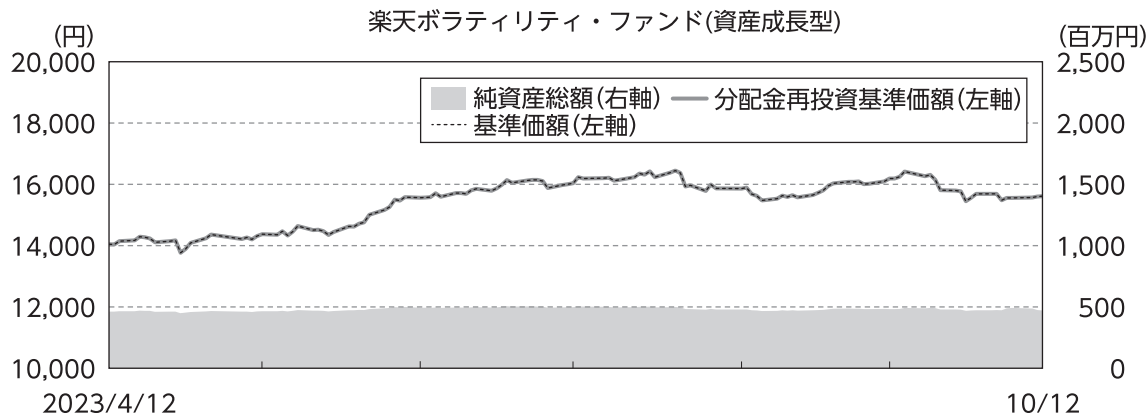
■基準価額の主な変動要因

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)

当ファンドの基準価額の主な変動要因としては、主要投資先である楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)(以下、「主要投資先ファンド」といいます。)の基準価額変動があげられます。主要投資先ファンドは、ボラティリティ関連指数に連動する投資商品への投資を行います。主要投資先ファンドの基準価額の変動要因としては、実質的な最終投資対象であるVIX先物およびVIX先物の原資産であるVIXの値動きが主要な要素となります。

当作成期のVIXは期を通してほとんどの期間で、投資家心理の節目とされる20ポイントを下回る推移となりました。こうしたなか主要投資先ファンドではVIX先物の売り持ち姿勢を継続し、VIXの低下が進んだ前半を中心に収益を積み重ねました。

■ 基準価額等の推移



期 首：14,046円

期 末：15,615円(既払分配金0円)

騰落率：11.2%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)

当ファンドの基準価額の主な変動要因としては、主要投資先ファンドの基準価額変動があげられます。主要投資先ファンドは、ボラティリティ関連指数に連動する投資商品への投資を行います。主要投資先ファンドの基準価額の変動要因としては、実質的な最終投資対象であるVIX先物およびVIX先物の原資産であるVIXの値動きが主要な要素となります。

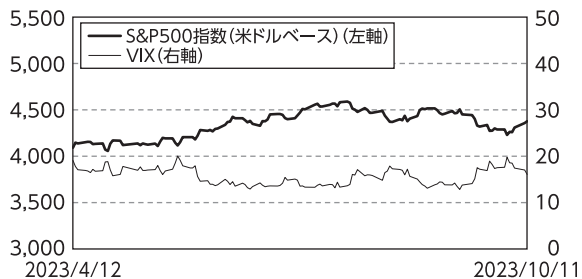
当期のVIXは期を通してほとんどの期間で、投資家心理の節目とされる20ポイントを下回る推移となりました。こうしたなか主要投資先ファンドではVIX先物の売り持ち姿勢を継続し、VIXの低下が進んだ期前半を中心に収益を積み重ねました。

■投資環境

当期の株式市場は期初から2023年7月末にかけて大きく上昇し、その後は上値が重いなか、下押し圧力が優勢となる局面も見られたものの、前作成期末比上昇しました。期前半は、底堅い米経済指標が続くなかで、大幅な景気減速を回避しながらインフレ抑制が進む、ソフトランディング(軟着陸)への期待が広がったほか、FRB(米連邦準備制度理事会)やECB(欧州中央銀行)による利上げサイクルの早期終了観測やAI(人工知能)の勃興をテーマとした関連銘柄への物色等が相場を押し上げる材料となりました。ただ、株価上昇と合わせて米長期金利の上昇も続いたことから、金利高への警戒が次第に強まり、米10年債利回りの水準が8月以降は4%を上回り続け、9月下旬には約16年ぶりとなる4.5%を超える水準まで上昇するなか、8月以降の株価は不安定な推移となりました。

こうした株価の変動に合わせて、VIXはほとんどの期間で投資家心理の節目とされる20ポイントを下回る推移となり、特に2023年6月から7月にかけては大半の期間において15ポイントを下回りました。また、8月中旬にかけて、9月下旬から期末にかけては株価下落に合わせて上昇し、10月初旬には一時的に20ポイント台となる時間帯があったものの、20ポイントを超えた水準が続くことはありませんでした。

VIX先物の各限月の水準は、期を通して期近の先物価格の方が期先の先物価格より低い(コンタンゴ)の傾向が保たれました。ただし、株価の騰勢が一服し、投資家の慎重姿勢が折に触れ強まった2023年8月以降は、限月間の価格差の縮小(フラット化)が進みやすい地合いとなりました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

■当ファンドのポートフォリオ

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)は、楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)の受益証券(「主要投資先ファンド」)を主要投資対象とし、主要投資先ファンドを通じてボラティリティ関連指数に連動する投資商品への実質的な投資を行いました。

当作成期も、主要投資先ファンドのパフォーマンスを享受すべく、同ファンドの組入比率を高位に保ち、一部をSPDR® ブルームバーク 米国国債1-3ヵ月 ETF(米ドル建て)やコール・ローン等にて安定的に運用しました。

楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)

楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)は、主要投資先ファンドを主要投資対象とし、主要投資先ファンドを通じてボラティリティ関連指数に連動する投資商品への実質的な投資を行いました。

当期も、主要投資先ファンドのパフォーマンスを享受すべく、同ファンドの組入比率を高位に保ち、一部をSPDR® ブルームバーク 米国国債1-3ヵ月 ETF(米ドル建て)やコール・ローン等にて安定的に運用しました。

【楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)のポートフォリオ】

※楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)の作成期間(2023年3月9日～2023年9月8日)における運用状況を記載しております。

楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)における投資戦略は、VIXや関連する指数の方向性やその変化の度合い、VIX先物の期間構造^(※)等を総合的に分析したうえで構築されております。定量的な分析を土台に、VIX先物の目標エクスポージャーを日々計算しており、VIX先物の買い持ちや売り持ちポジション、あるいはETNを通じたVIX先物の実質的な買い持ちや売り持ちポジションをそれぞれ増減させます。

ポートフォリオにおいては、VIXの大幅な上昇やVIX先物の各限月の価格状況の変化を受け、2023年3月後半に一時的にVIX先物の買い持ちを構築したものの、3月終わりにはVIX先物の売り持ちに切り替え、それ以降は期末まで、その残高をVIXやVIX先物の各限月の価格の変化を見ながら変動させたものの、売り持ち姿勢を維持しました。こうしたなか、VIXが低下基調となり、低位で安定的に推移した4月から7月にかけて、VIX先物の売り持ちから着実に収益を積み重ねました。8月は中旬にかけてVIXが上昇するなかで、売り持ちからの損失が発生したものの、基準価額は、前作成期末比でまとまった上昇となりました。

[※]VIX先物の期日までの期間による価格差異の状況

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)／(資産成長型)

■当ファンドのベンチマークとの差異

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)および楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)は、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■分配金

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)

分配金額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます)等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定しました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)

投資信託財産の長期的な成長を追求する観点から、当期の分配は行わないことといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

●分配原資の内訳

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)

(1万口当たり・税込)

項 目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2023年4月13日～ 2023年5月12日	2023年5月13日～ 2023年6月12日	2023年6月13日～ 2023年7月12日	2023年7月13日～ 2023年8月14日	2023年8月15日～ 2023年9月12日	2023年9月13日～ 2023年10月12日
当期分配金 (円)	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率) (%)	(0.527)	(0.490)	(0.477)	(0.485)	(0.477)	(0.498)
当期の収益 (円)	0	6	0	0	0	1
当期の収益以外 (円)	29	23	29	29	29	28
翌期繰越分配対象額 (円)	1,872	1,849	1,819	1,789	1,759	1,731

(注1) 「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)

(1万口当たり・税込)

項 目	第19期
	2023年4月13日～ 2023年10月12日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	10,638

(注1) 「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)および楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)は、主要投資先ファンドを主要投資対象とし、主要投資先ファンドを通じてボラティリティ関連指数に連動する投資商品への実質的な投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。主要投資先ファンドの組入比率は高位を維持します。

【楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)の今後の運用方針】

今後も、平常時と判断される局面では、VIX先物の売り持ちポジションを保有し、相場の大きな変動を受け、平常時からの転換が認められた際には、段階的にVIX先物の買い持ちポジションに切り替える運用を基本的な手法とします。

VIX先物は変動性の高い資産であり、VIX先物の売り持ちを行っている場合に、予期せぬ材料で相場急変が生じ、それを受けてVIXが急騰するような場面では、短期的に大きな損失を被ることが想定されます。また、相場急変を受けて、ポートフォリオがVIX先物の買い持ちに転じた後に、相場異変の懸念が一過性のものに終わり、VIXが急落するような場合にも損失を被ると想定されることにはご留意ください。

ファンドにおける運用スタイルは、株式等、一般的なリスク資産の市場における平常時、暴落時双方での高い収益力と、その反面時折起こる一過性の市場急変において受ける損失とを総合して、中長期的に高い収益を獲得するというものです。今後もVIX先物のポジションを機動的に変動させることにより、市場平常時の収益力と、株式等の暴落時におけるヘッジ効果を両立させる運用を目指してまいります。

なお、外貨建て資産は、80%以上を基本として対円での為替ヘッジを行います。

1万口当たりの費用明細

項 目	当作成期		項 目 の 概 要
	2023年4月13日～2023年10月12日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬(基本報酬)	31円	0.511%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は6,052円です。
(a) (投信会社)	(10)	(0.165)	・委託した資金の運用の対価
(a) (販売会社)	(20)	(0.330)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(a) (受託会社)	(1)	(0.016)	・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 信託報酬(成功報酬)	—	—	(b) 信託報酬(成功報酬)＝(基準価額(成功報酬控除前)－ハイ・ウォーターマーク)×11%(税抜10%) 信託報酬(成功報酬)は、基本報酬に加えて委託会社が受領する委託した資金の運用の対価
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	6	0.106	(e) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(e) (保管費用)	(0)	(0.002)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(e) (監査費用)	(0)	(0.008)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(e) (印刷費用)	(6)	(0.096)	・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
(e) (その他)	(0)	(0.000)	・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	37	0.617	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

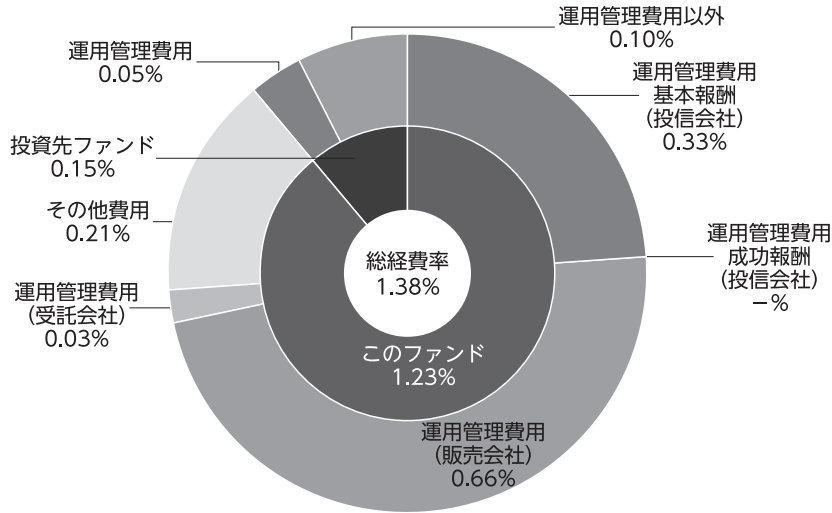
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

■ (参考情報) 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.38%です。



総経費率 (①+②+③)	1.38%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況

■投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		単位数又は口数	金 額	単位数又は口数	金 額
国		千口	千円	千口	千円
内	楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)	94,542	72,832	168,474	135,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未满是切捨て。

利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

組入資産の明細

■ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名		当 作 成 期 末		
		単位数又は口数	評 価 額	比 率
		千口	千円	%
	楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)	584,589	454,868	98.8
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	584,589 1	454,868 <98.8%>	

(注1) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 単位数又は口数、評価額の単位未满是切捨て。

■ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名		当 作 成 期 末			
		単位数又は口数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
		千口	千米ドル	千円	%
	SPDR® ブルームバーグ 米国国債1-3ヵ月 ETF	0.104	9	1,421	0.3
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	0.104 1	9 -	1,421 <0.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 単位数又は口数、評価額の単位未满是切捨て。ただし、単位数又は口数、評価額が単位未満となる場合は小数で記載。

投資信託財産の構成

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 456,290	% 98.4
短 期 金 融 資 産、そ の 他	7,349	1.6
投 資 信 託 財 産 総 額	463,639	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建資産(1,552千円)の投資信託財産総額(463,639千円)に対する比率は、0.3%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=149.26円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2023年5月12日)、	(2023年6月12日)、	(2023年7月12日)、	(2023年8月14日)、	(2023年9月12日)、	(2023年10月12日)現在
	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
(A)資 産	475,927,342円	587,603,475円	583,995,323円	480,656,416円	485,957,788円	463,639,050円
コール・ローン等	6,482,398	13,516,482	11,887,398	5,477,177	9,749,395	4,349,025
投資信託受益証券(評価額)	469,444,944	574,086,993	572,107,925	475,179,239	476,208,393	456,290,025
未 収 入 金	—	—	—	—	—	3,000,000
(B)負 債	4,075,916	8,167,616	11,779,849	3,547,448	4,803,217	3,457,299
未 払 収 益 分 配 金	2,497,622	2,852,062	2,745,183	2,323,312	2,307,333	2,301,086
未 払 解 約 金	1,099,566	4,797,287	8,461,475	630,920	2,028,799	675,219
未 払 信 託 報 酬	392,133	428,756	486,605	498,029	383,385	394,259
未 払 利 息	18	39	32	15	28	12
そ の 他 未 払 費 用	86,577	89,472	86,554	95,172	83,672	86,723
(C)純資産総額(A-B)	471,851,426	579,435,859	572,215,474	477,108,968	481,154,571	460,181,751
元 本	832,540,706	950,687,357	915,061,192	774,437,604	769,111,067	767,028,792
次 期 繰 越 損 益 金	△360,689,280	△371,251,498	△342,845,718	△297,328,636	△287,956,496	△306,847,041
(D)受 益 権 総 口 数	832,540,706口	950,687,357口	915,061,192口	774,437,604口	769,111,067口	767,028,792口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,668円	6,095円	6,253円	6,161円	6,256円	6,000円

(注) 期首元本額は835,714,826円、第109～114期中追加設定元本額は185,342,509円、第109～114期中一部解約元本額は254,028,543円です。

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)

■損益の状況

第109期(自2023年4月13日 至2023年5月12日) 第112期(自2023年7月13日 至2023年 8月14日)
 第110期(自2023年5月13日 至2023年6月12日) 第113期(自2023年8月15日 至2023年 9月12日)
 第111期(自2023年6月13日 至2023年7月12日) 第114期(自2023年9月13日 至2023年10月12日)

項 目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
(A)配 当 等 収 益	4,353円	649,356円	4,895円	602,570円	5,606円	593,642円
受 取 配 当 金	4,451	650,126	4,881	603,808	5,558	593,220
受 取 利 息	242	—	592	—	326	763
支 払 利 息	△340	△770	△578	△1,238	△278	△341
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	11,233,130	38,628,797	17,556,403	△4,913,924	10,079,845	△17,389,438
売 買 益	11,263,027	38,999,336	18,040,716	1,900,449	10,192,137	131,190
売 買 損	△29,897	△370,539	△484,313	△6,814,373	△112,292	△17,520,628
(C)信 託 報 酬 等	△480,054	△519,603	△574,576	△594,624	△468,535	△482,440
(D)当期損益金(A+B+C)	10,757,429	38,758,550	16,986,722	△4,905,978	9,616,916	△17,278,236
(E)前期繰越損益金	△86,050,307	△73,512,764	△33,482,334	△13,833,942	△18,454,480	△8,720,058
(F)追加信託差損益金	△282,898,780	△333,645,222	△323,604,923	△276,265,404	△276,811,599	△278,547,661
(配当等相当額)	(158,386,309)	(178,029,494)	(169,229,613)	(140,904,823)	(137,636,799)	(134,968,542)
(売買損益相当額)	(△441,285,089)	(△511,674,716)	(△492,834,536)	(△417,170,227)	(△414,448,398)	(△413,516,203)
(G)計(D+E+F)	△358,191,658	△368,399,436	△340,100,535	△295,005,324	△285,649,163	△304,545,955
(H)収益分配金	△2,497,622	△2,852,062	△2,745,183	△2,323,312	△2,307,333	△2,301,086
次期繰越損益金(G+H)	△360,689,280	△371,251,498	△342,845,718	△297,328,636	△287,956,496	△306,847,041
追加信託差損益金	△285,382,249	△335,856,521	△326,343,701	△278,580,198	△279,113,549	△280,732,159
(配当等相当額)	(155,902,840)	(175,818,195)	(166,490,835)	(138,590,029)	(135,334,849)	(132,784,044)
(売買損益相当額)	(△441,285,089)	(△511,674,716)	(△492,834,536)	(△417,170,227)	(△414,448,398)	(△413,516,203)
分配準備積立金	626	651	470	219	360	334
繰越損益金	△75,307,657	△35,395,628	△16,502,487	△18,748,657	△8,843,307	△26,115,216

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には成功報酬が含まれます。(消費税相当額を含めて表示しています。)なお、当作成期における成功報酬はありませんでした。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

項 目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
(A)配当等収益額(費用控除後)	4,161円	640,783円	4,723円	7,946円	5,325円	111,202円
(B)有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	—円	—円	—円	—円	—円	—円
(C)収益調整金額	158,386,309円	178,029,494円	169,229,613円	140,904,823円	137,636,799円	134,968,542円
(D)分配準備積立金額	10,618円	631円	2,152円	791円	418円	5,720円
(E)分配対象収益額(A+B+C+D)	158,401,088円	178,670,908円	169,236,488円	140,913,560円	137,642,542円	135,085,464円
(F)期末残存口数	832,540,706口	950,687,357口	915,061,192口	774,437,604口	769,111,067口	767,028,792口
(G)収益分配対象額(1万口当たり) (E/F×10,000)	1,902.61円	1,879.37円	1,849.45円	1,819.55円	1,789.62円	1,761.14円
(H)分配金額(1万口当たり)	30円	30円	30円	30円	30円	30円
(I)収益分配金金額 (F×H/10,000)	2,497,622円	2,852,062円	2,745,183円	2,323,312円	2,307,333円	2,301,086円

分配金のお知らせ

	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
1万口当たり分配金	30円	30円	30円	30円	30円	30円

収益分配金の支払いについて

- ・収益分配金は、取扱い販売会社において決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。
- ・分配金再投資コースを選択されている場合は、各決算日の基準価額に基づき、お客様の口座に繰り入れて再投資いたします。

収益分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金は、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」の区分があり、分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本を下回る場合は、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

受益者別の普通分配金に対する課税について

個人の受益者

20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、および地方税5%)の税率となります。

法人の受益者

個人の受益者とは異なります。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※税法が改正された場合等は、上記の内容が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はありません。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2023年4月13日～2023年10月12日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬(基本報酬)	79円	0.511%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は15,480円です。 ・委託した資金の運用の対価
(a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a)	(26) (51) (3)	(0.165) (0.330) (0.016)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 信託報酬(成功報酬)	—	—	(b) 信託報酬(成功報酬)＝(基準価額(成功報酬控除前)－ハイ・ウォーターマーク)×11%(税抜10%) 信託報酬(成功報酬)は、基本報酬に加えて委託会社が受領する委託した資金の運用の対価
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	17	0.107	(e) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e) (e)	(0) (1) (15) (0)	(0.002) (0.009) (0.097) (0.000)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	96	0.618	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

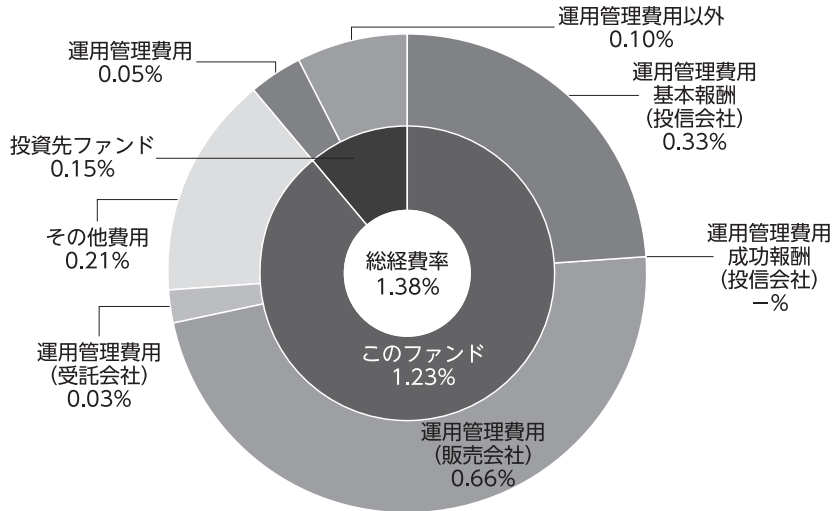
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.38%です。



総経費率 (①+②+③)	1.38%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況

■投資信託証券

		当 期			
		買 付		売 付	
		単位数又は口数	金 額	単位数又は口数	金 額
国内	楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)	千口 34,365	千円 26,866	千口 81,056	千円 63,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

組入資産の明細

■ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名		当 期 末		
		単位数又は口数	評 価 額	比 率
	楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)	千口 603,844	千円 469,851	% 99.5
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	603,844 1	469,851 <99.5%>	

(注1) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 単位数又は口数、評価額の単位未満は切捨て。

■ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名		当 期 末			
		単位数又は口数	評 価 額		比 率
	外貨建金額		邦貨換算金額		
	SPDR® ブルームバーグ 米国国債1-3ヵ月 ETF	千口 0.093	千米ドル 8	千円 1,270	% 0.3
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	0.093 1	8 -	1,270 <0.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 単位数又は口数、評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位数又は口数、評価額が単位未満となる場合は小数で記載。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	471,122	94.3
短 期 金 融 資 産、そ の 他	28,740	5.7
投 資 信 託 財 産 総 額	499,862	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建資産(1,402千円)の投資信託財産総額(499,862千円)に対する比率は、0.3%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=149.26円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年10月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	499,862,123円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	12,739,849
投資信託受益証券(評価額)	471,122,274
未 収 入 金	16,000,000
(B) 負 債	27,515,762
未 払 解 約 金	24,539,648
未 払 信 託 報 酬	2,467,279
未 払 利 息	37
そ の 他 未 払 費 用	508,798
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	472,346,361
元 本	302,489,406
次 期 繰 越 損 益 金	169,856,955
(D) 受 益 権 総 口 数	302,489,406口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,615円

(注) 期首元本額 328,848,187円

期中追加設定元本額 46,765,917円

期中一部解約元本額 73,124,698円

■損益の状況

(自2023年4月13日 至2023年10月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,800,526円
受 取 配 当 金	1,801,845
受 取 利 息	1,996
支 払 利 息	△3,315
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	42,033,256
売 買 益	51,510,320
売 買 損	△9,477,064
(C) 信 託 報 酬 等	△2,984,747
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	40,849,035
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△38,735,218
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	167,743,138
(配 当 等 相 当 額)	(310,329,163)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△142,586,025)
(G) 計 (D+E+F)	169,856,955
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	169,856,955
追 加 信 託 差 損 益 金	167,743,138
(配 当 等 相 当 額)	(310,329,163)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△142,586,025)
分 配 準 備 積 立 金	11,468,914
繰 越 損 益 金	△9,355,097

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には成功報酬が含まれます。(消費税相当額を含めて表示しています。)なお、当期における成功報酬はありませんでした。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

項 目	当 期
(A) 配当等収益額 (費用控除後)	1,677,853円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	－円
(C) 収益調整金額	310,329,163円
(D) 分配準備積立金額	9,791,061円
(E) 分配対象収益額 (A+B+C+D)	321,798,077円
(F) 期末残存口数	302,489,406口
(G) 収益分配対象額 (1万口当たり) (E / F × 10,000)	10,638.30円
(H) 分配金額 (1万口当たり)	－円
(I) 収益分配金金額 (F × H / 10,000)	－円

お知らせ

該当事項はありません。

■組入ファンドの概要

以下は、『楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)／(資産成長型)』が組み入れている投資信託証券(ファンド)の状況として、当(作成)期末において入手できる直近の情報を掲げております。

	ファンド名	決算日
1	楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)	2023年9月8日
2	SPDR [®] ブルームバーグ 米国国債1-3ヵ月 ETF	2023年6月30日

1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

基 本 方 針	この投資信託は、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 な 投 資 対 象	ボラティリティ関連指数に連動する投資商品を主要投資対象とします。為替ヘッジのために為替先渡・予約取引も活用します。
フ ァ ン ド の 特 色 お よ び 投 資 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、ボラティリティ関連指数に連動する投資商品（ボラティリティ関連資産）への投資を行い、投資信託財産の成長を目指します。 ・ボラティリティ関連資産への投資にあたっては、ボラティリティのトレンドおよび期間構造等を勘案しながら実質的な売り持ち、買い持ちおよびそれら投資比率を決定します。 ・組入外貨建資産の割合に応じて対円での為替ヘッジを行います。ヘッジ比率は80%程度以上を基本とします。 ・ただし、資金動向、市況動向等に急激な変化が生じたとき等ならびに投資信託財産の規模によっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。
ベ ン チ マ ー ク	なし
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）の行使により取得したものに限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・投資信託証券（但し、金融商品取引所等上場の投資信託証券を除きます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
信 託 報 酬	純資産総額に対し、年0.055%（税抜年0.05%）
信 託 財 産 留 保 額	一部解約時の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額
委 託 会 社	楽天投信投資顧問株式会社
受 託 会 社	三井住友信託銀行株式会社（再信託受託会社：株式会社日本カストディ銀行）

1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

■最近5作成期の運用実績

決算期	基準価額			株式先物 組入比率	公社債 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 配	込 金 騰 落 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
第15作成期	84期(2021年 4月 8日)	8,079	0	12.6	△42.3	62.0	1,416
	85期(2021年 5月10日)	8,393	0	3.9	△44.6	59.9	1,453
	86期(2021年 6月 8日)	7,871	0	△6.2	△45.5	61.3	1,429
	87期(2021年 7月 8日)	8,085	0	2.7	△46.6	60.1	1,471
	88期(2021年 8月10日)	8,098	0	0.2	△30.7	57.9	1,523
	89期(2021年 9月 8日)	8,232	0	1.7	△42.5	63.8	1,554
第16作成期	90期(2021年10月 8日)	7,906	0	△4.0	△16.4	54.6	1,637
	91期(2021年11月 8日)	8,211	0	3.9	△50.5	54.0	1,683
	92期(2021年12月 8日)	7,671	0	△6.6	16.5	56.8	1,600
	93期(2022年 1月11日)	7,904	0	3.0	△42.6	54.8	1,683
	94期(2022年 2月 8日)	7,239	0	△8.4	△33.3	57.7	1,597
	95期(2022年 3月 8日)	6,704	0	△7.4	△18.3	63.0	1,465
第17作成期	96期(2022年 4月 8日)	6,902	0	3.0	△44.7	63.6	1,555
	97期(2022年 5月 9日)	6,480	0	△6.1	△3.3	71.1	1,467
	98期(2022年 6月 8日)	6,629	0	2.3	△24.3	62.3	1,488
	99期(2022年 7月 8日)	6,455	0	△2.6	△22.7	56.3	1,446
	100期(2022年 8月 8日)	6,728	0	4.2	△28.7	53.6	1,507
	101期(2022年 9月 8日)	6,687	0	△0.6	△20.5	48.2	1,489
第18作成期	102期(2022年10月11日)	6,676	0	△0.2	18.0	58.4	1,486
	103期(2022年11月 8日)	6,827	0	2.3	△24.0	58.3	1,494
	104期(2022年12月 8日)	6,912	0	1.2	△40.5	54.1	1,500
	105期(2023年 1月10日)	7,071	0	2.3	△9.8	51.5	1,525
	106期(2023年 2月 8日)	7,218	15	2.3	△21.8	58.4	1,554
	107期(2023年 3月 8日)	7,165	0	△0.7	△16.4	61.7	1,543
第19作成期	108期(2023年 4月10日)	6,913	10	△3.4	△43.0	62.0	1,481
	109期(2023年 5月 8日)	7,075	0	2.3	△15.2	61.8	1,514
	110期(2023年 6月 8日)	7,701	10	9.0	△33.1	60.5	1,601
	111期(2023年 7月10日)	7,967	0	3.5	△31.1	59.9	1,648
	112期(2023年 8月 8日)	7,971	10	0.2	△12.7	65.8	1,506
	113期(2023年 9月 8日)	7,991	0	0.3	△29.8	58.0	1,499

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 株式先物組入比率=買建比率-売建比率

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

■ 当作成期中の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		株式先物 組入比率	公 社 債 組入比率	投資証券 組入比率
			騰 落 率			
第108期	(期 首)2023年 3月 8日	円	%	%	%	%
	3月末	7,165	—	△16.4	61.7	—
	(期 末)2023年 4月10日	6,897	△3.7	△15.1	62.5	—
第109期	(期 首)2023年 4月10日	6,923	△3.4	△43.0	62.0	—
	4月末	6,913	—	△43.0	62.0	—
	(期 末)2023年 5月 8日	7,012	1.4	△44.4	61.8	—
第110期	(期 首)2023年 5月 8日	7,075	2.3	△15.2	61.8	—
	5月末	7,075	—	△15.2	61.8	—
	(期 末)2023年 6月 8日	7,331	3.6	△33.7	63.3	—
第111期	(期 首)2023年 6月 8日	7,711	9.0	△33.1	60.5	—
	6月末	7,701	—	△33.1	60.5	—
	(期 末)2023年 7月10日	7,999	3.9	△31.2	60.5	—
第112期	(期 首)2023年 7月10日	7,967	3.5	△31.1	59.9	—
	7月末	7,967	—	△31.1	59.9	—
	(期 末)2023年 8月 8日	8,174	2.6	△34.9	59.7	—
第113期	(期 首)2023年 8月 8日	7,981	0.2	△12.7	65.8	—
	8月末	7,971	—	△12.7	65.8	—
	(期 末)2023年 9月 8日	7,954	△0.2	△30.2	57.9	—
		7,991	0.3	△29.8	58.0	—

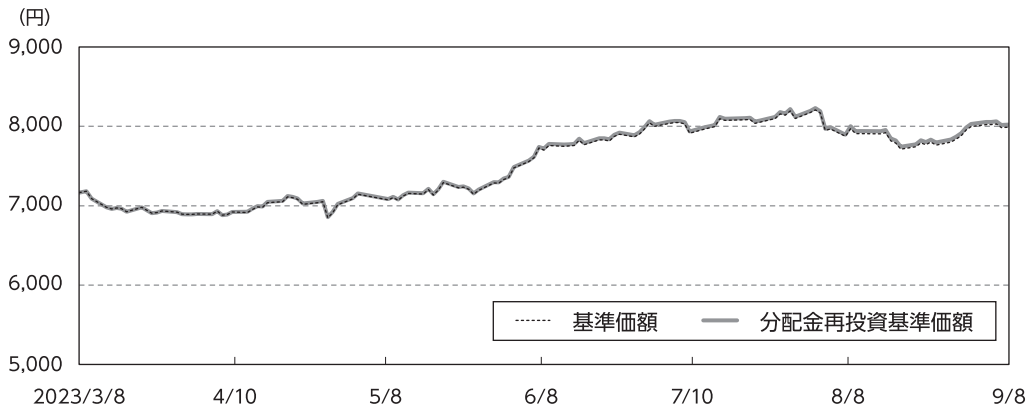
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 株式先物組入比率=買建比率-売建比率

1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

■ 当作成期中の運用経過と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

2. 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、ボラティリティ関連指数に連動する投資商品への投資を行います。基準価額の変動要因としては、実質的な最終投資対象であるVIX先物およびVIX先物の原資産であるVIXの値動きが主要な要素となります。

当作成期のVIXは期初に大きく上昇したものの、その後は低下基調となり、特に2023年6月から7月にかけて低位で安定的に推移しました。こうしたなか、ポートフォリオでは2023年3月の終わり以降、VIX先物の売り持ちを継続し、4月から7月にかけて収益を積み重ねました。

1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

3. 投資環境

当作成期の株式市場は2023年3月中旬から7月末にかけて大きく上昇し、その後やや下押し圧力が強まったものの、前作成期末比大幅に上昇しました。期初こそ、米中堅銀行の相次ぐ破綻を受けた金融不安を受け、調整地合いとなりましたが、その後は、底堅い米経済指標が続くなかで、大幅な景気減速を回避しながらインフレ抑制が進む、ソフトランディング(軟着陸)への期待が広がったほか、FRB(米連邦準備制度理事会)やECB(欧州中央銀行)による利上げサイクルの早期終了観測やAI(人工知能)の勃興をテーマとした関連銘柄への物色等が相場を押し上げました。ただ、株価上昇と合わせて米長期金利の上昇も続くなかで、金利高への警戒から8月中旬にかけては株価上昇が一服し、下押し圧力が優勢となる展開が見られました。

こうした株価の変動に合わせて、VIXは2023年3月中旬に、一時2022年10月以来となる30ポイント台まで上昇したものの、その後は低下基調をたどり、4月以降はほとんどの期間で投資家心理の節目とされる20ポイントを下回る推移となり、特に6月から7月にかけては大半の期間で15ポイントを下回りました。8月中旬にかけては株価下落に合わせて上昇したものの、20ポイントを超えることはありませんでした。

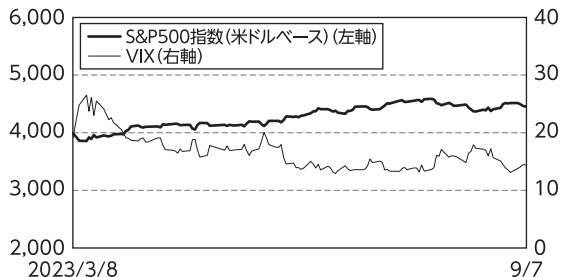
VIX先物の各限月の水準は、2023年3月中旬の金融不安が高まった時期に、一時的に期近の先物価格の方が期先の先物価格よりも高くなる形状となったものの、当局による流動性供給が迅速に実施されるなど、金融システム全体への悪影響が抑制され、株価が上昇に転じるなか、3月下旬以降は期近の先物価格の方が期先の先物価格より低い形状(コンタンゴ)に変化しました。そして、これ以降は期末まで、8月などに限月間の価格差の縮小(フラット化)が進むことはあったものの、コンタンゴが継続的に観測されました。

4. 当ファンドのポートフォリオ

ポートフォリオにおいては、VIXの大幅な上昇やVIX先物の各限月の価格状況の変化を受け、2023年3月後半に一時的にVIX先物の買い持ちを構築したものの、3月終わりにはVIX先物の売り持ちに切り替え、それ以降は期末まで、その残高をVIXやVIX先物の各限月の価格の変化を見ながら変動させたものの、売り持ち姿勢を維持しました。こうしたなか、VIXが低下基調となり、低位で安定的に推移した4月から7月にかけて、VIX先物の売り持ちから着実に収益を積み重ねました。8月は中旬にかけてVIXが上昇するなかで、売り持ちからの損失が発生したものの、基準価額は、前作成期末比でまとまった上昇となりました。

5. 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

6. 今後の運用方針

今後も、平常時と判断される局面では、VIX先物の売り持ちポジションを保有し、相場の大きな変動を受け、平常時から転換が認められた際には、段階的にVIX先物の買い持ちポジションに切り替える運用を基本的な手法とします。

VIX先物は変動性の高い資産であり、VIX先物の売り持ちを行っている場合に、予期せぬ材料で相場急変が生じ、それを受けてVIXが急騰するような場面では、短期的に大きな損失を被ることが想定されます。また、相場急変を受けて、ポートフォリオがVIX先物の買い持ちに転じた後に、相場異変の懸念が一過性のものに終わり、VIXが急落するような場合にも損失を被ると想定されることにはご注意ください。

ファンドにおける運用スタイルは、株式等、一般的なりスク資産の市場における平常時、暴落時双方での高い収益力と、その反面時折起こる一過性の市場急変において受ける損失とを総合して、中長期的に高い収益を獲得するというものです。今後もVIX先物のポジションを機動的に変動させることにより、市場平常時の収益力と、株式等の暴落時におけるヘッジ効果を両立させる運用を目指してまいります。

なお、外貨建て資産は、80%以上を基本として対円での為替ヘッジを行います。

■1万口当たりの費用明細

項目	当作成期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (販売会社)	2円 (0)	0.028% (0.006)
(受託会社)	(2)	(0.022)
(b) 売買委託手数料 (先物・オプション)	8 (8)	0.105 (0.105)
(c) その他費用 (保管費用)	4 (1)	0.050 (0.016)
(その他)	(3)	(0.034)
合計	14	0.183

期中の平均基準価額は7,561円です。

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、費用項目については10ページ(1万口当たりの費用の明細の項目の概要)をご参照下さい。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

■売買および取引の状況

●公社債

			当 作 成 期	
			買 付 額	売 付 額
外国	アメリカ	国債証券	千米ドル 8,816	千米ドル — (10,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■派生商品の取引状況等

●先物取引の銘柄別取引・残高状況

銘 柄 別		当 作 成 期				当 作 成 期 末 評 価 額		
		買 建		売 建		買建額	売建額	評価損益
		新規 買付額	決済額	新規 売付額	決済額			
外国		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
	株式先物取引							
	CBOE VIX FUT	149	134	3,377	3,007	—	447	34

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

■組入資産の明細

●外国(外貨建)公社債種類別

区 分	当 作 成 期 末				残 存 期 間 別 組 入 比 率			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
		外貨建金額	邦貨換算金額					
ア メ リ カ	千米ドル 6,000	千米ドル 5,922	千円 870,622	% 58.0	% —	% —	% —	% 58.0
合 計	6,000	5,922	870,622	58.0	—	—	—	58.0

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。小数点以下第2位を四捨五入。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

●外国(外貨建)公社債銘柄別

銘 柄 名	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
			当 作 成 期 末		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券					
US Treasury B 01/11/24	—	1,000	981	144,314	2024/1/11
US Treasury B 02/08/24	—	1,000	977	143,718	2024/2/8
US Treasury B 10/05/23	—	1,000	996	146,430	2023/10/5
US Treasury B 11/09/23	—	1,000	990	145,675	2023/11/9
US Treasury B 11/21/23	—	1,000	989	145,419	2023/11/21
US Treasury B 12/07/23	—	1,000	986	145,063	2023/12/7
合 計				870,622	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

●先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別	当 作 成 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外 国	百万円	百万円
株式先物取引		
CBOE VIX FUT	—	447

(注) 単位未満は切捨て。

1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

■投資信託財産の構成

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 870,622	% 57.1
短 期 金 融 資 産、そ の 他	653,193	42.9
投 資 信 託 財 産 総 額	1,523,815	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建資産(1,481,950千円)の投資信託財産総額(1,523,815千円)に対する比率は、97.3%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=147.01円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

●資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年4月10日)、(2023年5月8日)、(2023年6月8日)、(2023年7月10日)、(2023年8月8日)、(2023年9月8日)現在

項 目	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末
(A)資 産	2,798,078,367円	2,872,465,350円	3,224,878,586円	3,190,564,160円	3,026,722,761円	2,890,005,251円
コール・ローン等	290,794,396	419,113,019	358,646,009	396,834,004	282,605,691	393,216,013
公 社 債(評価額)	918,675,450	936,068,489	968,527,035	987,413,757	991,466,490	870,622,105
未 収 入 金	1,329,874,960	1,329,325,146	1,712,635,383	1,554,307,100	1,464,395,178	1,400,396,572
そ の 他 未 収 収 益	43,383	47,557	7,739	11,656	15,994	20,232
差 入 委 託 証 拠 金	258,690,178	187,911,139	185,062,420	251,997,643	288,239,408	225,750,329
(B)負 債	1,317,068,154	1,357,569,941	1,623,018,461	1,541,629,099	1,520,218,326	1,390,154,661
未 払 金	1,310,756,060	1,357,425,216	1,620,777,087	1,534,457,520	1,518,175,073	1,385,996,898
未 払 収 益 分 配 金	2,142,428	—	2,080,115	—	1,889,889	—
未 払 解 約 金	3,999,999	—	—	7,000,000	—	3,999,999
未 払 信 託 報 酬	74,045	63,501	71,314	79,714	70,883	69,130
未 払 利 息	264	303	248	109	34	123
そ の 他 未 払 費 用	95,358	80,921	89,697	91,756	82,447	88,511
(C)純資産総額(A-B)	1,481,010,213	1,514,895,409	1,601,860,125	1,648,935,061	1,506,504,435	1,499,850,590
元 本	2,142,428,224	2,141,230,593	2,080,115,037	2,069,730,683	1,889,889,824	1,876,946,421
次 期 繰 越 損 益 金	△661,418,011	△626,335,184	△478,254,912	△420,795,622	△383,385,389	△377,095,831
(D)受 益 権 総 口 数	2,142,428,224口	2,141,230,593口	2,080,115,037口	2,069,730,683口	1,889,889,824口	1,876,946,421口
1万円当たり基準価額(C/D)	6.913円	7.075円	7.701円	7.967円	7.971円	7.991円

(注) 期首元本額は2,153,921,239円、第108～113期中追加設定元本額は106,135,685円、第108～113期中一部解約元本額は383,110,503円です。

1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

●損益の状況

第108期(自2023年3月 9日 至2023年4月10日)	第111期(自2023年6月 9日 至2023年7月10日)
第109期(自2023年4月11日 至2023年5月 8日)	第112期(自2023年7月11日 至2023年8月 8日)
第110期(自2023年5月 9日 至2023年6月 8日)	第113期(自2023年8月 9日 至2023年9月 8日)

項 目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
(A)配 当 等 収 益	885,602円	1,043,903円	727,207円	1,075,893円	986,649円	1,329,373円
受 取 利 息	663,389	901,307	594,361	870,461	821,201	1,130,816
そ の 他 収 益 金	230,680	146,956	134,374	236,268	167,863	197,114
支 払 利 息	△8,467	△4,360	△1,528	△30,836	△2,415	1,443
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△4,983,612	△1,543,192	△1,221,004	△2,697,750	△8,284,831	△845,597
売 買 益	71,995,592	42,209,881	85,975,383	76,465,443	48,265,751	96,594,884
売 買 損	△76,979,204	△43,753,073	△87,196,387	△79,163,193	△56,550,582	△97,440,481
(C)先 物 取 引 等 取 引 損 益	△47,595,143	35,396,666	132,968,962	56,906,601	10,207,423	3,378,512
取 引 益	7,495,271	36,607,791	133,895,146	56,906,601	23,894,975	34,098,234
取 引 損	△55,090,414	△1,211,125	△926,184	-	△13,687,552	△30,719,722
(D)信 託 報 酬 等	△209,483	△184,409	△202,015	△213,709	△195,540	△201,480
(E)当 期 損 益 金 (A+B+C+D)	△51,902,636	34,712,968	132,273,150	55,071,035	2,713,701	3,660,808
(F)前 期 繰 越 損 益 金	△225,995,905	△279,480,088	△237,770,694	△102,131,047	△42,948,613	△41,780,735
(G)追 加 信 託 差 損 益 金	△381,377,042	△381,568,064	△370,677,253	△373,735,610	△341,260,588	△338,975,904
(配 当 等 相 当 額)	(1,392,591)	(1,391,938)	(1,352,208)	(1,095,050)	(999,898)	(993,089)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△382,769,633)	(△382,960,002)	(△372,029,461)	(△374,830,660)	(△342,260,486)	(△339,968,993)
(H)計 (E+F+G)	△659,275,583	△626,335,184	△476,174,797	△420,795,622	△381,495,500	△377,095,831
(I)収 益 分 配 金	△2,142,428	0	△2,080,115	0	△1,889,889	0
次 期 繰 越 損 益 金 (H+I)	△661,418,011	△626,335,184	△478,254,912	△420,795,622	△383,385,389	△377,095,831
追 加 信 託 差 損 益 金	△381,377,042	△381,568,064	△370,928,947	△373,735,610	△341,260,588	△338,975,904
(配 当 等 相 当 額)	(1,392,591)	(1,391,938)	(1,100,514)	(1,095,050)	(999,898)	(993,089)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△382,769,633)	(△382,960,002)	(△372,029,461)	(△374,830,660)	(△342,260,486)	(△339,968,993)
分 配 準 備 積 立 金	86,540	1,124,813	604	1,072,302	31,790	1,294,702
繰 越 損 益 金	△280,127,509	△245,891,933	△107,326,569	△48,132,314	△42,156,591	△39,414,629

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益及び(C)先物取引等取引損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

項 目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
(A)配当等収益額(費用控除後)	676,119円	1,038,389円	726,096円	1,071,726円	920,341円	1,260,024円
(B)有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	-円	-円	-円	-円	-円	-円
(C)収益調整金額	1,392,591円	1,391,938円	1,352,208円	1,095,050円	999,898円	993,089円
(D)分配準備積立金額	1,552,849円	86,424円	1,102,929円	576円	1,001,338円	34,678円
(E)分配対象収益額(A+B+C+D)	3,621,559円	2,516,751円	3,181,233円	2,167,352円	2,921,577円	2,287,791円
(F)期末残存口数	2,142,428,224口	2,141,230,593口	2,080,115,037口	2,069,730,683口	1,889,889,824口	1,876,946,421口
(G)収益分配対象額(1万口当たり) (E/F×10,000)	16円	11円	15円	10円	15円	12円
(H)分配金額(1万口当たり)	10円	-円	10円	-円	10円	-円
(I)収益分配金金額 (F×H/10,000)	2,142,428円	-円	2,080,115円	-円	1,889,889円	-円

1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

■ 分配金のお知らせ

	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
1万口当たり分配金	10円	0円	10円	0円	10円	0円

■ お知らせ

該当事項はありません。

2. SPDR® ブルームバーグ 米国国債1-3ヵ月 ETF

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 会 社	SSgAファンズ・マネジメント・インク
実質的な主要投資対象	残存期間1ヵ月以上3ヵ月未満の米国財務省証券
運 用 の 基 本 方 針	ブルームバーグ米国国債(1-3ヵ月)指数に連動する運用成果を目指す
管 理 報 酬 等 (年)	0.1354%

2. SPDR[®] ブルームバーグ 米国国債 1-3 ヶ月 ETF

■ 損益計算書

(2023年6月30日に終了する計算期間)

SPDR SERIES TRUST STATEMENTS OF OPERATIONS For the Year Ended June 30, 2023

	SPDR Bloomberg 1-3 Month T-Bill ETF
INVESTMENT INCOME	
Interest income — unaffiliated issuers	\$958,028,298
Dividend income — affiliated issuers	10,295,154
Unaffiliated securities lending income	1,565,966
Affiliated securities lending income	2,027,695
Foreign taxes withheld	—
TOTAL INVESTMENT INCOME (LOSS)	971,917,113
EXPENSES	
Advisory fee	33,963,335
Trustees' fees and expenses	269,896
Proxy voting expenses	820,514
Miscellaneous expenses	11,773
TOTAL EXPENSES	35,065,518
NET INVESTMENT INCOME (LOSS)	\$936,851,595
REALIZED AND UNREALIZED GAIN (LOSS)	
Net realized gain (loss) on:	
Investments — unaffiliated issuers	(19,485,691)
Investments — affiliated issuers	—
In-kind redemptions — unaffiliated issuers	(1,675,489)
Foreign currency transactions	—
Net realized gain (loss)	(21,161,180)
Net change in unrealized appreciation/depreciation on:	
Investments — unaffiliated issuers	10,141,449
Investments — affiliated issuers	—
Net change in unrealized appreciation/ depreciation	10,141,449
NET REALIZED AND UNREALIZED GAIN (LOSS)	(11,019,731)
NET INCREASE (DECREASE) IN NET ASSETS FROM OPERATIONS	\$925,831,864

2. SPDR[®] ブルームバーグ 米国国債 1-3 ヶ月 ETF

■ 組入資産の明細

(2023年 6 月 30 日現在)

SPDR BLOOMBERG 1-3 MONTH T-BILL ETF SCHEDULE OF INVESTMENTS June 30, 2023

Security Description	Principal Amount	Value	Security Description	Shares	Value
U.S. TREASURY OBLIGATIONS — 98.9% (a)			State Street Navigator Securities Lending Portfolio II (d) (e)	863,662,500	\$ 863,662,500
U.S. Treasury Bill:			TOTAL SHORT-TERM INVESTMENTS		
4.57%, 7/6/2023	\$ 1,914,622,000	\$ 1,913,832,621	(Cost \$1,184,413,815)		1,184,413,815
4.72%, 7/18/2023	1,333,089,000	1,330,299,231	TOTAL INVESTMENTS — 103.1%		
4.85%, 7/5/2023	1,520,598,000	1,520,183,531	(Cost \$29,035,689,647)		29,042,574,794
4.85%, 7/25/2023	1,332,721,000	1,328,648,791	LIABILITIES IN EXCESS OF OTHER		
4.90%, 7/11/2023	1,332,949,000	1,331,476,091	ASSETS — (3.1)%		(865,367,969)
4.93%, 8/8/2023	675,676,000	672,208,093	NET ASSETS — 100.0%		\$28,177,206,825
4.94%, 8/31/2023	2,083,985,000	2,066,355,466			
4.95%, 7/20/2023	1,970,945,000	1,966,284,405	(a) Rate shown is the discount rate at time of purchase, not a coupon rate.		
4.97%, 8/29/2023	675,898,000	670,402,665	(b) The Fund invested in certain money market funds managed by SSGA Funds Management, Inc. Amounts related to these transactions during the period ended June 30, 2023 are shown in the Affiliate Table below.		
4.98%, 8/15/2023	675,728,000	671,574,361	(c) The rate shown is the annualized seven-day yield at June 30, 2023.		
5.00%, 8/1/2023	675,625,000	672,869,713	(d) The Fund invested in an affiliated entity. Amounts related to these transactions during the period ended June 30, 2023 are shown in the Affiliate Table below.		
5.03%, 8/3/2023	1,971,222,000	1,962,541,704	(e) Investment of cash collateral for securities loaned.		
5.05%, 7/27/2023	1,970,832,000	1,964,241,203			
5.06%, 8/17/2023	1,971,234,000	1,958,514,613			
5.06%, 8/22/2023	675,692,000	670,844,849			
5.07%, 8/10/2023	2,609,710,000	2,595,571,531			
5.23%, 7/13/2023	2,609,799,000	2,606,169,736			
5.25%, 8/24/2023	1,970,889,000	1,956,142,375			
TOTAL U.S. TREASURY OBLIGATIONS (Cost \$27,851,275,832)		<u>27,858,160,979</u>			
	Shares				
SHORT-TERM INVESTMENTS — 4.2%					
State Street Institutional U.S. Government Money Market Fund, Class G					
Shares 5.07% (b) (c)	320,751,315	320,751,315			